

ひっぴ

JCI  **Junior Chamber International Shibetsu**
Worldwide Federation of Young Leaders and Entrepreneurs

Shibetsu JC 2006
NewYear



年頭所感

社団法人 士別青年会議所 第50代理事長 片庭 隆暁

新年明けましておめでとうございます。

この度、長い歴史と伝統を持つ（社）士別青年会議所 第50代理事長を仰せ付けられました事は、誠に光栄でありますと共に、責任の重さを痛感しております。

（社）士別青年会議所は、約半世紀にわたり「明るい豊かな社会」を創るために活動して参りました。では、今よりも良い社会を創るためには何が必要なのでしょう。

私は、この地域に住む人々がまちを良くするために「変えよう」「変わろう」とする意識を個々に持って行動することだと考えます。

「発展」「成長」とは変化することです。

人は必ずしも変化を好むものではありません。何故なら変化は、今を否定することになるからです。しかし、「今の自分にはまだ満足できない」という自己否定ならば「もっと頑張って上を目指そう」

「もっと良いまちにしよう」という活力になると考えます。

「まち」は「ひと」が創るものです。大切なのは自分自身が変えられるかどうかなのです。

2006年度（社）士別青年会議所は

広げよう友情の輪 共に創ろう 情熱と活力ある^{まち}地域を

をスローガンに、自分の住む地域を良くしようという意識、情熱を持つ仲間を増やし、又、協力しながら地域発展のため一年間活動して参ります。

何卒、皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして、年頭のご挨拶に代えさせていただきます。



新春を祝って

士別市長 田 苅子 進

皆様、明けましておめでとうございます。

希望に満ちた輝かしい新春を市民の皆様と共に、健やかにお迎えできましたことを心からお慶び申し上げます。日頃、社団法人士別青年会議所の皆様には、本市の「まちづくり」をはじめ様々な面からご尽力を賜り、深く敬意を表し感謝を申し上げます。

激動の21世紀にあって国の内外を問わず、何かと大変な時局ありますが、今年の1年を振り返って見ます時、何といっても北海道の景気回復が全国的には回復基調にあるといわれながらもそんな実感がなく、企業の経営環境や雇用の面でも大きな影響を受けており、この地方の基幹産業の農業においても、去年は台風の被害もなく豊穡の秋を迎えたにも関わらず素直に喜べない誠に残念な農業情勢にあり「流した汗」が確実に報われる時代の確立が急がれます。

反面、こうした中であって脚光を浴びるような出来事もありました。それは士別市の歴史に大きく記される旧「士別市と朝日町」の合併による新「士別市」の誕生であります。また、士別南中学校吹奏楽部の皆さんが東日本学校吹奏楽大会で見事金賞を受賞されたこと、そして地域文化の環境づくりに功績があった施設として「あさひサンライズホール」が総務大臣賞受賞に決定したこと、さらに、羊肉の全国的なブームにより「羊のまち・サフォークランド士別」が一躍脚光を浴び、今後の「食と観光」の面での広がりなど、ブランド化に一層の知恵を結集していく手がかりとなり、自信につながったことは大きな収穫でもあり、飛躍の第一歩として喜ばしい限りであります。

さて、地方自治体を取り巻く環境も、国と地方の三位一体改革における税源移譲や地方交付税改革論議をはじめ、行財政改革、市町村合併など「地方分権改革」の下に、自主・自律の行政運営を行う一大変革期にあり、このような情勢下にあって昨年9月1日に合併の道を選択しました。

新しい「まちづくり」の基本理念は、過去の両市町といった境界線を取り除き、「相互信頼」に基づく「融和と一体感」を先ずは第一に、「合併効果」を最大限に生かしながら市民の力と英知を結集し、「合併して本当によかった」と後世の皆様からも「評価が集まる」確かなまちづくりを着実に推進していくことであります。

新市においては、「天塩川」をはじめ「岩尾内湖」、「サフォークランド」、「スポーツ・文化の合宿の里」、「自動車等の試験研究のまち」、「サンライズホール」等を基本に、さらに足元再発見ともいうべき視点で新たな宝となる原石の発掘に努め、この原石を丹念に磨くことによって新しい「まちづくり」に結びつけていくことであります。

今年は、士別中学校の体育館及び糸魚小学校の改築に着手、河川防災ステーションのオープン、市営住宅北部団地の建替え、さらに、懸案の「上士別地区国営農地再編整備事業」も調査設計の初年度となる見通しに立っています。

「市の行政」を巡る状況は、道の財政の厳しさもさることながら、少子・高齢社会への対応をはじめ、環境問題、米改革への対応を含めた農業振興、賑わいのある商店街の再構築、厳しい医療制度改革化での市立病院の経営健全化など課題が山積しておりますが、こうした課題を解決し前進を見るためには、何といっても市民と行政が共に手を携える「協働のまちづくり」が大切であり、「天塩の流れ」とともに人と大地が躍動する「すこやかなまち」の実現に全力投球してまいります。

どうかJCの皆様も、諸先輩が取り組まれた「まちづくり」運動の気概をもう一度振り返り、2006年スローガンに掲げた「広げよう友情の輪 共に創ろう 情熱と活力ある地域を」、若い力を結集されますことを願いたします。

結びになりますが、士別青年会議所の益々のご発展と会員各位のご健勝とご繁栄を心から祈念し、新春を迎えましてのご挨拶とさせていただきます。



副理事長・専務理事ご挨拶



2006年度の抱負

副理事長 柏倉 晶憲

新年明けましておめでとうございます。

2006年の輝ける新春を健やかに迎えられましたことにメンバーはもとより、関係各位、先輩諸兄のご健勝をこころよりお慶び申し上げます。

一昨年、入会10年という節目を向かえ今年度は副理事長という重職に仰せつかりましたことを大変光榮に思っております。

士別青年会議所の本年度スローガンが『広げよう友情の輪、共に創ろう情熱と活力ある地域を』と掲げられました。副理事長として今までの友情を更に強く、そして新たな友情（新入会員）をみつきたいと願いつつ、そこでJC活動がより情熱的になり活力ある地域が生まれるということを前提に考えます。

自分自身の信念をより多くの人に伝え、また共に汗をかき知恵を絞るのが青年会議所の一旦ではないでしょうか。後にも先にも創立50周年という半世紀の集大成が来年迎えられます。今年度は来年に向けての飛躍の年であることは間違いありません。

千葉委員長共々、委員会メンバーと『動』をキーワードに頭と体をフルに動かしていく所存です。メンバーが少ないなどとは、いっておられません。自分たちの活動を理解して頂けるように、また、JCとしていっしょに友情や地域を発展させたいと思って頂けるような活動を一年間メンバーと共にがんばっていきますので、皆様の今後、変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げ新年のご挨拶に代えさせていただきます。



新年のご挨拶 副理事長兼専務理事 三野 一寿

新年明けましておめでとうございます。

輝ける2006年度を皆様と迎えられることを、心よりお慶び申し上げます。

また昨年は、真のまちづくり委員会の委員長として、皆様に大変お世話になりましたことをお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

入会3年目の本年度、片庭理事長のもと副理事長兼専務理事という大役を仰せつかり、正直自分に務まるのか不安でいっぱいしております。経験不足な私ですが、この一年間LOMの運営を円滑に進められるよう、メンバーと協力しながら邁進していく所存であります。

私はメンバー一人一人が行動し活躍でき、誰もが英雄（ヒーロー）になれるのがJCであり、この行動や活躍が本年度のスローガンにもあります、友情の輪・活力のある地域につながって行くのではないかと考えます。また、今、会員減少という問題を抱えておりますが、この活動を多くの皆様に伝え理解していただけることができれば、会員拡大へと繋がっていくのではないかと考えます。

先輩諸兄並びに関係各位の皆様方におかれましては、これまでと変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



理事ご挨拶



総務ネットワーク委員会 委員長 菊地 仁

新年明けましておめでとうございます。

士別青年会議所に入会し早くも一年が経ち、この一年間は私にとって非常に沢山の事を学ぶ事ができ、大変充実した一年を送る事ができました。ありがとうございました。

本年度は総務ネットワーク委員会委員長という大役を仰せつかり、驚きと同時に大変光栄に存じております。それと共に、その責務の重大さというものをしっかりと認識し、士別JCの活動を円滑に進められる様、また広報誌やホームページ等を活用した広報活動に力を注ぎ、士別JCの活動を一人でも多くの方にご理解頂ける様、メンバーと共に一年間邁進してまいりますので、本年度も先輩諸兄並びに皆様の変わらぬご支援、御協力をお願い申し上げ、新年の挨拶に代えさせていただきます。



まちづくり推進委員会 委員長 千葉 洋介

入会7年目を迎えた本年、柏倉副理事長のもと「まちづくり推進委員会」委員長を勤めさせて頂きます。「まちの元気復活」を目指し、あらゆる可能性を繋ぎ合わせ、より具体的に現実的なまちづくりを推進する為に、青年としてJCとして何をすべきか、固定観念を脱ぎ捨て、一年間頑張る参りますので、一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。



総務ネットワーク委員会 副委員長 石田 歌織

新年明けましておめでとうございます。

昨年は真のひとづくり委員会の副委員長として、人間力の資質の向上やジュニアの育成に取り組んでまいりました。また、道北ブロックでは奥山塾に出向し、道北各地のLOMの方々と知り合うことができ、私にとって大変実りの多い一年でした。

本年は総務ネットワーク委員会の副委員長として、多くの皆様にJCの活動を知ってもらえるよう、ホームページ等を通して広く情報を発信していこうと考えております。また、理事会や諸会議が円滑に運営できるよう委員会メンバーと力をあわせて一年間がんばりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



まちづくり推進委員会 副委員長 辻本 康行

新年明けましておめでとうございます。

輝ける2006年を皆様と共に迎えられることを、心よりお慶び申し上げます。

本年度、まちづくり推進委員会副委員長を仰せつかり、委員長と共に委員会をまとめ、ともに行動し汗をかき熱意と情熱をもって邁進したいと考えております。

まもなく50年という節目を迎えようとする今、当青年会議所の歴史の重みを感じ、青年会議所運動の熱意と情熱の原点を忘れる事なく、運動の歴史に新しいページを重ねていくべく、本年さらに一歩踏み出したまちづくりを展開し、印象深い心に残る事業ができたかと考えております。皆様の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶に代えさせていただきます。



直前理事長・監事ご挨拶



年頭のご挨拶 直前理事長兼監事 武井 祐司

新年明けましておめでとうございます。
2005年度は第49代理事長として、多くの皆様にお世話になり感謝申し上げます。

様々な意味で「節目」と言われた2005年。国内外はもとより身近な地域においても「変化」の大きな年であったと感じ、同時に変化していることに「気づかされた」1年でありました。

人間、目に見える変化には気づきます。しかし、人の心や考え方、目の当たりにしていないことなど見えない変化には気づきにくく、そしてそれに気づくのはいつも、変化の影響による「結果」が出てきたときであり、日々報道されるよくないニュースは、まさにその「結果」であります。

2006年という年は、さらに大きく変化していく年になるでしょう。しかし、様々な世代の中核としてこの時代に生きる私たちは、「どんな年になるのか」ではなく「どんな年にするのか」と考え、さらには「どういう将来を見据えるのか」と広い視野を持って行動していかなければならない、と改めて感じるところであります。

2007年度には社団法人士別青年会議所は創立50周年を迎えます。半世紀という節目を数字だけで感じるのではなく、歴史をふまえて現在があり将来を考えることができる、その意識を大切に、準備を進めて参ります。

本年も社団法人士別青年会議所をよろしくお願い申し上げます。そして、地域の皆様に幸多き1年でありますよう、お祈り申し上げます。



年頭にあたり 監事 奥山 陽一

新年あけましておめでとうございます。
本年度、片庭理事長のもと監事としての要職を務めさせて頂く事になり大変光栄に思うと共に、その責任の重さを感じているところでございます。

一昨年は理事長、昨年は直前理事長と監事を兼務させて頂き、多くの皆様から頂いた御恩情を決して忘れる事なく、更に自分自身のステップアップと、少しでも御恩に報いる事が出来るよう務めてまいりたいと思っております。

また、本年度は監事の他に、会員拡大推進会議議長として職務する事になっております。メンバーの減少に頭を悩ませるだけではなく、街が駄目になれば自分達の生活に確実に影響していくんだ!と言う事をメンバーと共に紐解いていきたいと考えております。

私自身、理事長職で培った信念と僅かながらの経験を生かし、この愛する故郷士別の為に、そして士別JCの為に邁進して行きたいと考えておりますので、先輩諸兄並びに関係各位皆様におかれましては今後とも変わらぬ御指導、御鞭撻をお願い申し上げ、年頭の挨拶に代えさせていただきます。



総務ネットワーク委員会 委員 菅林 政宏

新年明けましておめでとうございます。

本年度、総務ネットワーク委員会に配属させていただきます。

菊地委員長のもと、JC活動が円滑に進められる様またメンバーの一員として「まちづくり」に参加していきたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

新入会員募集！

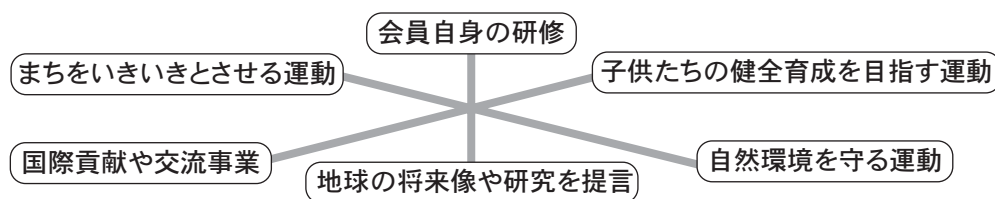
青年会議所はこんな団体です

青年会議所(略称JC)は、明るい豊かな社会づくりのため、まちづくりを初めとする様々な活動を行っている市民団体です。

JCには、男女を問わず20歳から40歳までの、ひと・まち・地球・世界を愛し、活動できる人なら誰でも入会できます。

現在、全国各地の720の地域で約4万名の会員が活動しており、また世界には112ヶ国約27万人の会員が国際的なつながりを持って活動しています。日本全国、土別の街でもJCは活動しています。

青年会議所の活動



このように全国各地の青年会議所では「明るい豊かなまち」をつくるために、各地の特性に合わせた運動を展開していきます。



新入会員ご紹介



かねこ ひろゆき
金子 博之

皆様、新年あけましておめでとうございます。新春を迎えるにあたり謹んで新年のお慶びを申し上げます。

この度片庭理事長にご推薦頂き、士別青年会議所に入会させて頂きました。今までは外側から青年会議所の活動、活躍を見させて頂いておりましたが実際に入会する事になり、緊張と不安の中にも共に活動に参加できる事への期待と希望を胸に新年を迎える事になりました。

今はまだ右も左も分からない状態ではありますが、一日も早く自分の役割を見つけ明るいまちづくりに向けて努力して参りたいと思いますのでどうぞ皆様からのご指導、よろしくお願い申し上げます。

生年月日 1969年 1月15日

勤務先・役職 (株) 士別グランドホテル 営業兼宴会係長

所属委員会 まちづくり推進委員会



なかむら ひでひろ
仲村 英宏

新年明けましておめでとうございます。

本年度よりJCに入会させていただくことになりました。

JCの活動については、まだまだ分からないことだらけで、皆様にご迷惑をかけると思いますが、士別のまちづくり・人づくりの為に微力ながら尽力できるよう、また諸先輩方のお役に立てるよう精一杯がんばらせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

生年月日 1975年 8月 2日

勤務先・役職 士別信用金庫本店 係長

所属委員会 まちづくり推進委員会



しむら みちこ
志村 美知子 (準会員)

新年明けましておめでとうございます。

この度、準会員として社団法人士別青年会議所に入会させていただきました。

様々なことを学び、地域の発展のために活動していきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

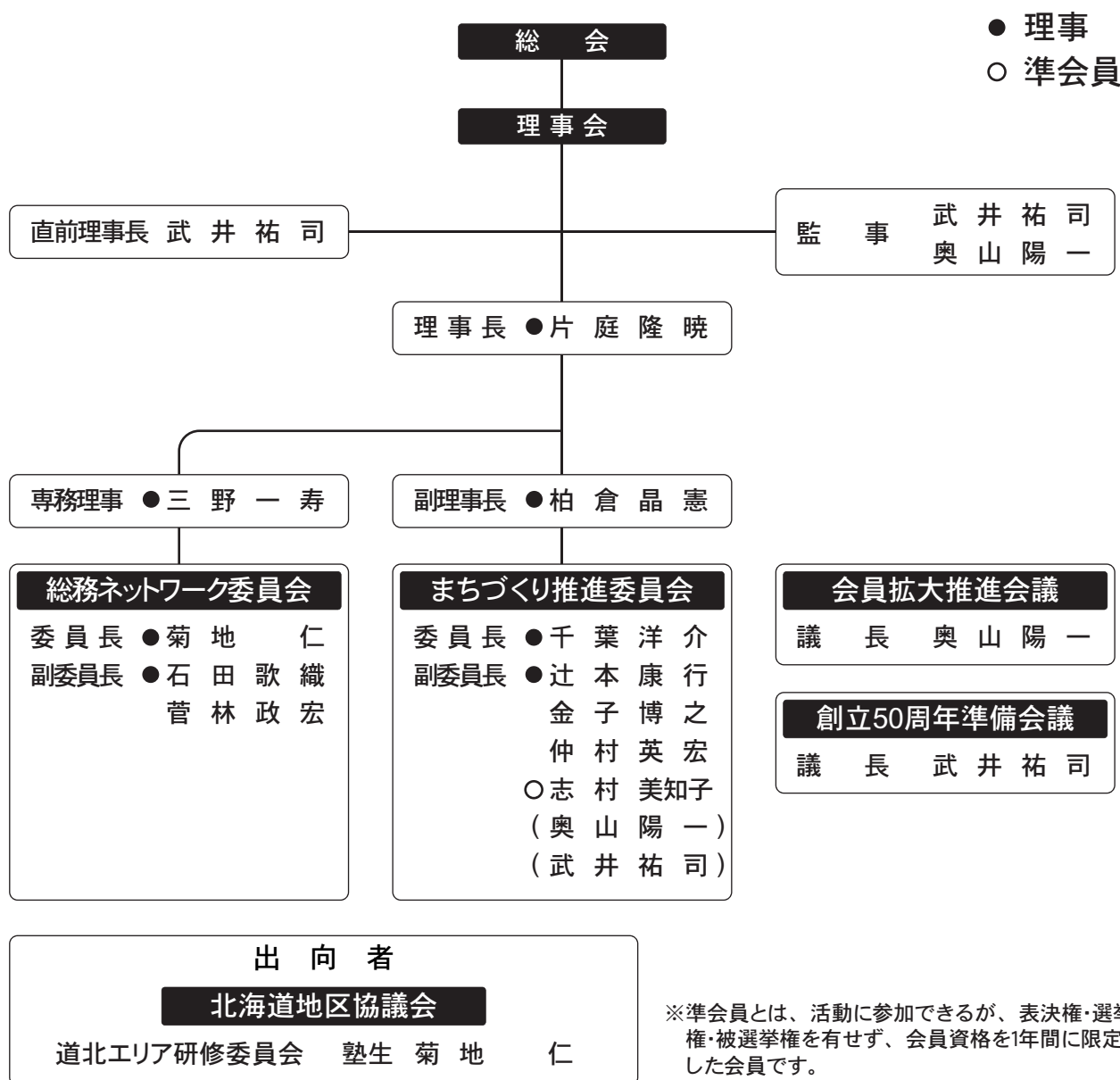
生年月日 1970年 6月25日

勤務先・役職 志村印刷(株)

所属委員会 まちづくり推進委員会



組織図



事務局

〒095-0022 北海道士別市西2条5丁目 士別商工会館

Tel 0165-23-2144

Fax 0165-23-1838

E-mail info@shibetsu-jc.jp

**士別JC
ウェブサイト**

2006年からアドレスが変わりました

<http://www.shibetsu-jc.jp/>

携帯電話閲覧用サイトはこちら

<http://www.shibetsu-jc.jp/m/>

ケータイバーコードから
簡単アクセス!



発行 (社)士別青年会議所

編集 総務ネットワーク委員会